

施工BIMツールと クラウドデータ紹介

千代田測器

千代田測器(東京都台東区、平野啓太郎社長)は、12日から14日まで東京都江東区の東京ビッグサイトで開かれている「スマートビルディングEXPO」に出展している。写真。オートデスクが協賛する。測量機器の販売・レンタルを行う同社は、BIMモデルと



3次元レーザースキャナーを組み合わせた「施工BIMツールセット」を展開している。展示会では、実機と同社が提供するソリューションを併せて紹介することで、来場者の関心を引いていた。

ブースでは、トプコンの「Layout Navigator LN-100」やオートデスクの「BIM360 LAYOUT」などトプコンソキアポジションングジャパン、オートデスクの製品を展示している。また、「AUTODESK Revit」で作成した3D設計データを現場の各工程で活用するため、「BIM360 Point Layout」での測点管理や「BIM360 Glue」によるクラウドデータの共有なども紹介している。

